

あなたが選ぶ
紀州材の家
作品集・2014



和歌山県農林水産部 森林・林業局 林業振興課

〒640-8585 和歌山市小松原通一丁目1番地

TEL.073-441-2968 / FAX.073-433-1037

【紀州材ホームページ】 <http://www.pref.wakayama.lg.jp/prefg/070600/kisyuzai/index.html>



あなたが選ぶ 紀州材の家 作品集・2014

今回紹介する作品は、

わかやま木の家コンテスト2014に応募された12作品です。

【最優秀賞】

木窓(もくまど)の家 ●辻・近川建築設計事務所 ……04

【優秀賞】

かすまくんち ●中村伸吾設計建築室 ……06

【優秀賞】

みかん畑に囲まれて…木と陽のぬくもり感じる家
●天野工務店 ……08

BOX HOUSE 2階にリビングのある箱の家

●株式会社スタジオパースリー ……10

上野の家 ●KK Design ……11

大きな吹き抜けのある家 ●オオエ建築設計室 ……12

熊取町青葉台の家 ●瀧川建築デザイン事務所 ……13

古都の香り漂う暮らし ●株式会社川口建設 ……14

山地の家 ●アール設計工房 ……15

大地の家 ●ハウスワン ……16

姿は変わっても歴史を受け継ぐ家 ●ぬくもり建築工房 ……17

里山で暮らすペットと楽しむ住まい ●株式会社清水工務店 ……18



わかやま木の家コンテスト2014 【あなたが選ぶ紀州材の家】概要

目的

紀州・木の国の大地に生まれ生産される紀州材は、古くから、目込みが良く、強度・耐久性に優れ、色合いや香りがよい良質な木材として評価されてきました。

わかやま木の家コンテスト2014「あなたが選ぶ紀州材の家」は、この良質な紀州材の特性を活かした家を表彰することで、紀州材を使用した住宅建築を促進し、ひいては需要拡大による地域の森林・林業・木材産業の活性化を図ることを目的としています。

応募住宅の条件

1. 和歌山県産木材「紀州材」を使用した新築住宅
2. 戸建て住宅、集合住宅、併用住宅、別荘など個人が居住することを目的とした住宅

応募資格

応募する住宅建築に直接関係した県内の事業者(設計者、施工者など)

審査方法

(1)一次審査

- 紀州材の特性を活かし、紀州材の需要拡大に寄与していることを審査基準に選考
- 建築関係者、森林・林業・木材産業関係者により審査選考

(2)二次審査

- 一次審査で選考された12作品を県内各地で一同に展示し、県民による一般投票を実施
- 一般投票の得票数により各賞を決定

【主催】和歌山県

【協賛】紀北流域林業活性化センター
紀中流域森林・林業活性化センター
紀南流域林業活性化センター



仁坂吉伸和歌山県知事と2014年度コンテストの受賞者



木窓(もくまど)の家



【1階】
【2階】
【屋上】

DATA
 設計 ● 辻・近川建築設計事務所
 海南市名高180-1
 TEL.073-498-7711
 施工 ● 株式会社赤土建設
 紀州材納材 ● 有限会社白樺木材

た工期ですべてを揃えることが難しい。その点、紀州材では良質な材と豊富なストックが確保されているので、赤身材で揃えることも可能である。簡単なことのように、現場ではこの安心感が何よりも心強い。紀州材の魅力は何よりも豊富な資源に支えられた安定感につきまると思う。

紀州材を使う場合は、繊細に見せる為に小幅の板を使ったり、節が目立つ場合などは乱尺ではなく整然と床を張ったりと少し一般的な使い方とは違う施工手段を試みている。使う側が新たな工夫と手間を掛けることで紀州材の持つイメージを少しでも洗練させていければと考えています。

**紀州材の
使い方のポイント**

外壁すべてにヌギ板を張る。少し節の少ない材料を集めるとなると限られ

木製建具屋さんの自邸として計画された木窓の家。31坪の小さな住宅ですが、吹き抜けを介して上下階をつなぎほとんどをワンルームとして計画することで広がりを感じさせています。お父さんが薪ストーブに火をくべて、お母さんが台所に立ち、お姉ちゃんがお手伝いをしながら、お兄ちゃんも勉強コーナーで宿題をしている。掘り込まれた畳敷きの床では弟がごろごろしながらおもちゃで遊んでいる。TVの前だけが居場所となるような窮屈な間取りとは違う、とても楽しくあたたかい家を計画しました。

【辻・近川建築設計事務所】

〈和歌山県和歌山市〉



かずまくんち

〈和歌山県岩出市〉



夏、扇風機も付けていないのに、
風で髪が揺れるんです。
「とまり木」みたいな場所がたくさんあって、
そのとき気持ちのいい「コロコロ」つりながら、
大きな屋根の下、ひとつながりの空間で、
みんながのびのび暮らしています。

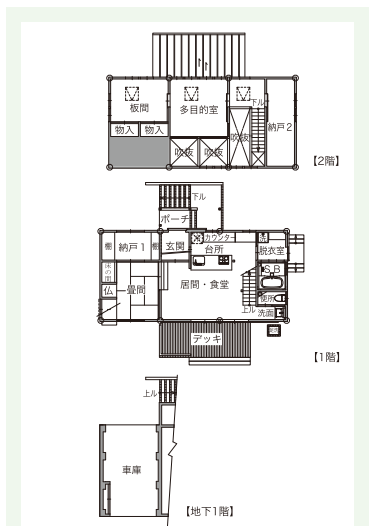
【中村伸吾設計建築室】

「木」を「木」として使う。

意匠性がゆたかで、断熱・調湿・蓄熱性能にも優れた木の素材はその特性を最大限に活かして使いたいものです。ところが、現実には思うほど簡単ではありません。肝心の「木」の部分が割れる、曲がる、色あせる…確かに難しいところもありますが、扱いを間違えなければ、長く付き合え評価も高いのがこの国の住文化を支えてきた「木」という素材です。彼らとの付き合い方を学び、その特性と特徴を最大限に活かす「木」を「木」として使う工夫を凝らしたいものです。「木」は「木」として使われてはじめてその



存在価値を増します。目込みな故に強靱で色味のやさしい紀州材は、快適な住環境を造る格好の材料だといえるでしょう。



DATA

設計 ● 中村伸吾設計建築室
田辺市新方29-24
TEL.0739-24-3824
施工 ● 山東建築
紀州材納材 ● 山本製材



みかん畑に囲まれて…木と陽のぬくもり感じる家

〈和歌山県西牟婁郡上富田町〉



【2階】
【1階】

DATA
 設計 ● なかむら設計
 施工 ● 天野工務店
 田辺市鮎川1851-3
 TEL.0739-48-0357
 紀州材納材 ● 株式会社伸栄木材



紀州材をふんだんに使い、木(紀州材)と陽(太陽)と炎(薪ストーブ)とで自然のぬくもりが重なり合うため、寒い冬でも心地よく過ごせる空間。リビングには、掘りこたつをイメージした畳に座れるダイニングテーブル。

夜になると満天の星空を見上げる事ができるテラス。

家の周りには、みかん畑もあり自然を感じつつ、リビングのどの場所に座っても子供達の笑顔や笑い声・家族・仲間が楽しい時間を過ごせるようにと願いを込めました。

施主家族は、建具や手摺りなど自分達の手が届く範囲で色を塗り、家作りに参加する事で愛着が湧いているそうです。

【天野工務店】

紀州材の良さ



紀州材で建てた家で生活を始める、木が湿度を調整してくれるので、梅雨の時期でもとても過ごしやすいということを実感いただけるでしょう。もちろん、木には暖かみがありますので、一年を通じて心地よく生活出来ることは言うまでもありません。

さらに、紀州材は、他の木に比べて目が細かく強い木だと言われています。この紀州材の強みを活かし、構造材として用いることで、機能美を兼ね備えた安心して暮らせる家を提供することが出来るのです。



上野の家

〈和歌山県和歌山市〉

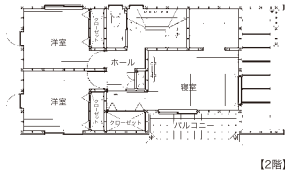
構造材には安定を求め紀州松を使用。濃い色の木が好きな施主様の為、化粧材には色を塗っても木目がはっきりと出る杉材を採用した。さらに外壁にも防火認定の取れた木製サイディングを使用している。

外観は、金属サイディングの青色も引き立つよう、軒天と外壁のバランスを配慮して木の量を決めた。内観においては、空間の広がりをもてるために、外部を取り込むよう室内の天井と軒天の高さ、さらに素材を合わせることで、つながるような空間作りを心掛けた。また、お客様を通すリビングとプライベートなスペースのダイニングキッチン、曖昧な空間として分けるために格子を採用。色の濃

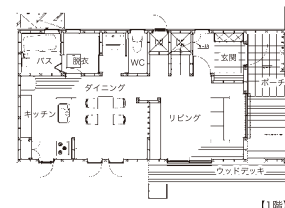
い柱を連続させた格子は、それだけで目に留まる存在感があり、人の視線の意識を手前まで止めることができる。気配を感じつつも、プライベートな空間をなるべく守りたいという思いを叶えた間仕切りとなった。

デザインで心掛けた所は、ただ単に木だけを主張するのではなく、他の素材と溶け込ませること。一般住宅で主に使用される素材に、一部デザインとして木材を使用することにより、他の素材のみだけでは味わえない温もりを感じ、独特の木目や質感を楽しめる、より穏やかな空間に仕上がるのではないだろうか考える。

【KK Design】



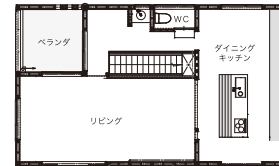
【2階】



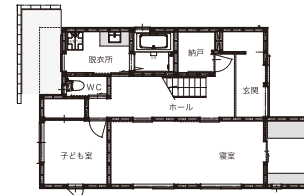
【1階】

DATA

設計 ● KK Design
和歌山市島崎町1丁目4-301
TEL.073-422-0100
施工 ● 国土建設株式会社
紀州材納材 ● 株式会社山長商店



【2階】



【1階】

DATA

設計 ● 株式会社スタジオパートナーズ
御坊市島686-1
TEL.0738-24-3343
施工 ● 有限会社タナカ工務店
紀州材納材 ● 株式会社山長商店



BOX HOUSE 2階にリビングのある箱の家

〈和歌山県西牟婁郡上富田町〉

紀州材を2階リビングや外部などで適材適所に使い、住まう家族がシンプルに自分らしく快適に住まえるこだわりの詰まった家が完成しました。

【株式会社スタジオパートナーズ】



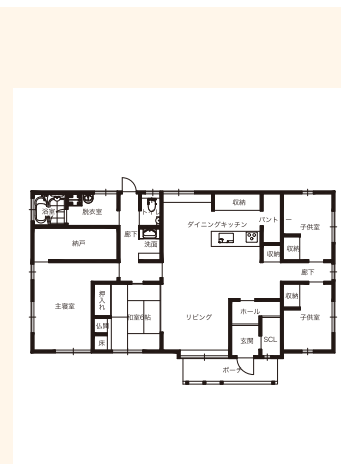
大きな吹き抜けのある家

〈和歌山県紀の川市〉

内部の仕上げ材料には、杉、桧、桜、樺など計6種類の無垢の木材と珪藻土の自然素材をベースにし、加えて、ビニルクロス、有孔シナ合板、化粧石膏ボードなど数種類の新建材

も採用しました。結果、一つの部屋にいくつもの仕上げが混在することになり、それぞれの配置を考えるのに苦労しましたが、お互いに邪魔をしない協調性のあるデザインに落ち着いたと思います。また、壁体内には調湿効果をねらい竹小舞下地を編んで土壁を塗り込みました。おかげで柔らかい空気が漂う心地良い空間になりました。

【オオ工建築設計室】



DATA

設計 ●オオ工建築設計室
和歌山市新在家37-3
TEL.090-1897-7152
施工 ●株式会社清建設
紀州材納材 ●株式会社山本製材所

熊取町青葉台の家

〈大阪府泉南郡熊取町〉

熊取町の古い造成地での住宅の建て替えです。以前の家は広さは十分にあつたのですが水回りの使い勝手が悪く、また断熱性能が不足していたために冬が寒く快適性に問題がありました。

の窓から光を入れることで十分に明るくなりました。奥さんがこだわったキッチンと洗面所と物干し場の位置も使い勝手の良いものになりました。内装はビノキの無垢の床と壁の珪藻土塗で心が和む雰囲気になるとともに健康にも十分配慮したものであります。

【瀧川建築デザイン事務所】

ト製の駐車場があつたために間取りに制約がありました。が何回もプランを打ち合わせする中で理想の間取りが出来ました。

リビングは吹き抜けにして高い位置



DATA

設計 ●瀧川建築デザイン事務所
和歌山市新中通1丁目16
TEL.073-427-6310
施工 ●木の家をつくる会 (有)武田建設
紀州材納材 ●株式会社熊野木材



DATA

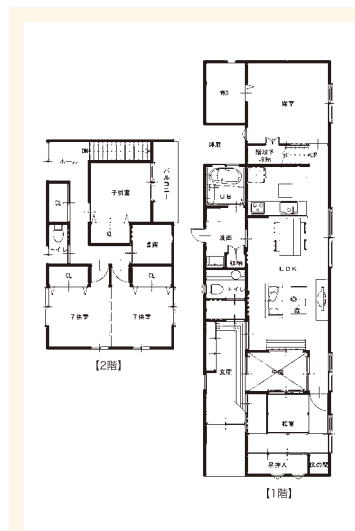
設計 ●アール設計工房
和歌山市美町5-22
TEL.073-432-3344
施工 ●株式会社創和建设
●株式会社伸栄木材
●有限会社白樺木材
紀州材納材

【アール設計工房】

吹抜けのリビング、階段の途中に設けた家族のライブラリー、その階下にある子供達の遊び場、これらを繋ぐ位置に大黒柱を思わせる7寸角の紀州材の檜の柱を配置。梁には、強度、耐久性に優れた紀州材の杉を使用しました。又、構造材は、天日と機械のハーフハーフでの乾燥方法としました。外壁から繋がる玄関ホールの壁の杉板は、厚みと板巾を変える事で表情豊かな壁面を造りました。

山地の家

〈和歌山県有田市〉



DATA

設計 ●株式会社川口建設
大阪府阪南市尾崎町508-3
TEL.072-473-4188
施工 ●株式会社川口建設
●龍神村森林組合
紀州材納材

【株式会社川口建設】

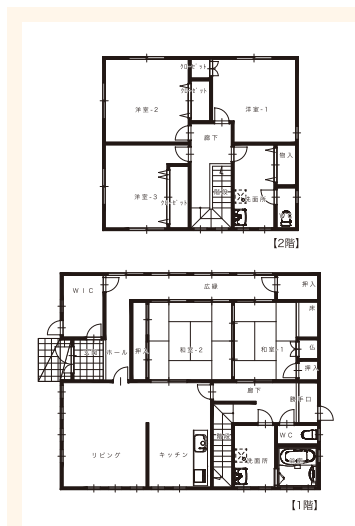
「昔から古風なイメージが好きな30代ご夫婦から頂戴した住まいのテーマは「京町家」というものでした。構造材に用いた、紀州産・檜の風合いを活かしながらも、龍神材の楕うごをういた和紙や、和室の天井にあしらった備長炭で、京の空気感を造りこみました。

また、和む雰囲気は漂う「中庭」をアクセントとして取り入れ、プライバシーを守りながらも、開放感のある

間取りにしています。「設計図はあくまでイメージ。造りながらも、私たちの希望をごまめに聞いてくれ、理想を形にしていって職人さんたちとの時間が、すごく心地良かった」施主さん。職人たちが、新たな住まいと共に築き上げた時間は、今も施主さんの心の中で守り継がれています。

〈大阪府枚方市〉

古都の香り漂う暮らし



DATA
 設 計 ●ぬくもり建築工房
 日高郡美浜町吉原452
 TEL.0738-20-5160
 施 工 ●ぬくもり建築工房
 紀州材納材 ●東岸建材店

【ぬくもり建築工房】



今回、ご紹介する建物は構造材はもちろん、化粧材や造作材全てが紀州の杉や檜を使用しています。全て4寸角を使用し、通し柱には45角を使

姿は変わっても歴史を受け継ぐ家

〈和歌山県日高郡美浜町〉

用しています。以前、建っていた築1000年近い建物を解体し、その100年近く共に生きて来た木を無駄にする事なく、リユースし、壁や天井の羽目板に最大限、加工しました。大黒柱はテーブルに、紀州の地松は腰壁の羽目板に、梁や厚鴨居の紀州杉は天井や壁の化粧材に。1000年近い歴史を変わりなく受け継ぐ事が住む人の一番の先祖様への孝行ではないでしょうか？



DATA
 設 計 ●ハウスワン
 新宮市三輪崎1460-3
 TEL.0735-31-5455
 施 工 ●ハウスワン
 紀州材納材 ●株式会社山長商店

【ハウスワン】



人は自然の恵みをうけています。その恵みを有効につかっことが大切です。木材そして地中熱など…再生可能なエネルギーをつかい、次の世代へ自然を残してあげたい。

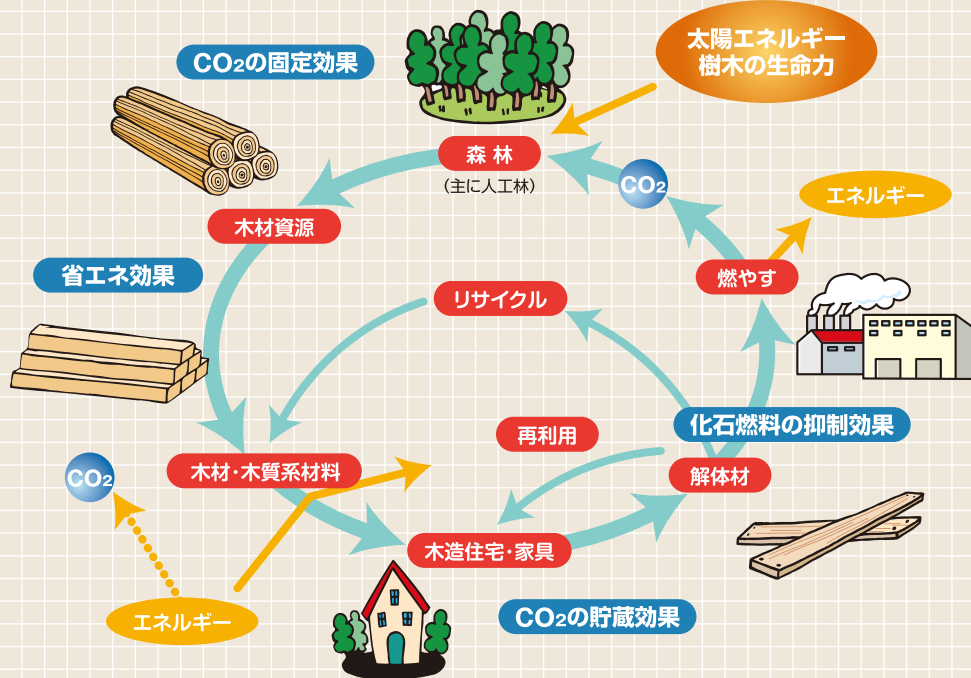
大地の家

〈和歌山県東牟婁郡串本町〉

木の家は、街の中で 再び森になります。

自然の恵みである「木」は、再生可能な循環型資源です。

森で育った木は、大気中から二酸化炭素(CO₂)を取り込み、固定します。伐採・製材され、柱や梁など建築用材として使われた後も、炭素はそのまま木材の中に蓄えられるため、「木の家」を建てると街の中に「第2の森」を作ることになります。森林を正しく管理し、木材を活用し、植林をする。こうしたサイクルの継続が、山村の雇用を創出するとともに、環境の保全や水源のかん養など、森林の持つ永続的な有用性に貢献します。国産材の家が建ち並ぶ街と山村のより良い共生は、これからの私たちの生活を支える基盤となっていでしょう。



DATA
 設 計 ●株式会社清水工務店
 東牟婁郡那智勝浦町湯川1377-48
 TEL.0735-52-4715
 施 工 ●株式会社清水工務店
 紀州材納材 ●江崎製材



ベットと一緒に暮らす店舗兼住宅です。1階部分を店舗とし、2階部分を居住部分としています。構造材にすべて紀州の杉、檜を使い、木の強

さと大工職人の技を活かす太鼓梁を適材適所に使い大きな空間を実現しています。また、太陽熱温水器、杉、檜の端材も利用可能な薪ストーブと薪ボイラーを使い里山の木を使ったエネルギーを有効に活用して、自然にもベットにも人にも優しい「住まい」になりました。

【株式会社清水工務店】

里山で暮らすベットと楽しむ住まい
 <和歌山県東牟婁郡那智勝浦町>